

専門外出身者が 建設業の素晴らしさを語る

地域を



道路や橋、トンネルなど社会インフラの整備には、建設業者の力が不可欠です。しかし、超少子高齢社会、人口減少時代に入り、業界の若い担い手は減少傾向にあります。災害時においては、復興・復旧にも貢献するだけに安全・安心という観点からも、建設業者への要請は高まるばかりです。建設業は専門的で広範囲な知識、長年の経験に培われた高度な技術が求められ、敷居の高い分野ですが、高校、大学で専門の知識を学んでいなくても、就業しながら現場で技術を磨き、時間外で知識を習得し「地域社会をつくり、支える担い手になる」という自己実現に向けて日々汗する人は少なくありません。今回の座談会では建設系以外の学科の卒業生ながら、建設業界に就職した方々に集まっただき、現場での技術の修得や、資格取得に向け努力した点、強い志を貫いた経験などについて語り合いました。(企画・制作 下野新聞社営業局)

●座談会出席者

(一社) 栃木県建設業協会

- 鹿沼支部 井戸産業(株)
- 日光支部 榎本建設(株)
- 芳賀支部 松本建設(株)
- 那須支部 (株)大岩建設
- 烏山支部 (株)岡工務店
- 足利支部 岩澤建設(株)

- 藤田 昌英 氏
- 榎本 菜月 氏
- 金子 真輔 氏
- 櫻井 延明 氏
- 菊池 睦人 氏
- 寺内紀美恵 氏

(一社) 栃木県建設業協会

- 広報委員会 委員長
- 副委員長
- 副委員長

- 岩原 正樹 氏
- 吉田 巨 氏
- 高村 宏之 氏

熱い気持ちで明日への道を拓く

興味が現実に

一最初に自己紹介を兼ね、現在担当している業務と、建設業界を目指そうと思ったきっかけを聞かせてください。

■藤田 大学法学部を卒業後、入社して13年になります。現在は現場管理の補助や社内の安全管理を担当しています。建設業を目指したのは幼い頃、バックホーなどの建設機械を見るのが好きで、自分でも「いつかは運転したい」と思うようになったのがきっかけでした。

■榎本 大学卒業後、都内のハウスメーカーに勤めていましたが、建築現場での現場代理人補佐を経て、今の会社では土木工事の現場代理人として管理業務を行っています。以前から「建

設業は女性には不向きな業種」と思い込んでいたんですが、現場代理人として活躍している女性の存在を知り、自分もやってみたいと思うようになりました。

■金子 高校卒業後、県内の建設会社に就職して4年、その後、現在の会社に勤め、16年になります。主に工事現場の運営、総合管理に携わっています。きっかけはいここからの紹介でした。

■櫻井 大学で経営学を学び、新卒で東北の建設会社に入社しましたが、途中で辞めて現在の会社に入り12年になります。



岩原正樹委員長

